

島地川ダム 高瀬湖だより



「森と湖に親しむ集い」を開催します

昨年度 親と子の水辺の教室状況



高瀬湖だよりに関する 問い合わせ先

発行者/国土交通省 中国地方整備局
山口河川国道事務所
島地川ダム管理支所
住所/〒746-0101
山口県周南市大字高瀬257
TEL(0834)67-2878
FAX(0834)67-2427
○ホームページ(山口河川国道事務所)
<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>



実施要項

開催日時 平成28年 7月29日(金) 9時30分～12時00分
開催場所 島地川ダム上流域の新平ヶ原公園(周南市崇山)
申込期間 平成28年 7月 6日(水)～ 7月22日(金)
募集対象 小学生とその保護者(幼児同伴可)
募集人数 40組程度(受付順)
内 容 親と子の水辺の教室(水生生物調査)
参加費 1名につき100円(保険代等)
当日スケジュール

9:00～9:30 受付
9:30～9:50 開会行事
9:50～11:40 親と子の水辺の教室
11:40～12:00 閉会行事 閉会行事終了後に解散
13:00～14:00 島地川ダム堤体内見学(自由参加)

※申込・問合せ先

周南市新南陽総合支所 地域政策課
☎ 0834-61-4108
周南市鹿野総合支所 産業土木課
☎ 0834-68-2335

※島地川ダム堤体内見学は当日現地にて行います

今年も、「森と湖に親しむ集い」を島地川ダム上流にある、新平ヶ原公園(周南市崇山)にて開催を予定しています。昨年も40組程度で募集した結果、締切日前に募集人数になりました。

このイベントは、森と湖に親しむ旬間(詳しくは裏面にて)に合わせて、お子さんに自然に親しむ機会を提供し、様々な体験を通じ、心身ともに健やかに育つことを目的に開催されています。

主な内容として、親と子の水辺の教室があります。川の中にいる生き物をとって、種類をしらべ、どんな場所にいるのかを確認します。

もようしの際は「島地川ダム」の見学もすることができます。

「どさけん」さん来た〜!

6月6日(月)の屋下がり、白色のタンクトップに赤色の半ズボン姿、丸刈り頭に体格の良い大男が島地川ダム管理支所に来所されました。よく見ると、吉本興業山口県住みます芸人の「どさけん」さんでした。

どさけんさんは、山口ケーブルビジョンで好評放送中の「にんげんのGO!」の番組で、高瀬郵便局に行かれ、その風景印に「島地川ダム」が描かれていたので島地川ダムに来所したとの事です。ダム職員は皆突然の来所で驚きました。どさけんさんは、放流の迫力に驚いていました。

高瀬郵便局の風景印



ダム直下での「どさけん」さんと風景印アドバイザーの「長谷川一夫」さん

風景印とは?

風景印は、正式名称を「風景入通信日付印(ふうけいおりつうしんにっぷいん)」といい、郵便局で使用される消印のひとつ。風景スタンプなどと呼ばれることもありますが、直径36mmの印面には、使用される郵便局周辺の風景や名所などが描かれています。

新平ヶ原公園

「森と湖に親しむ旬間」とは?

国土交通省及び農林水産省は、毎年7月21日から31日までを「森と湖に親しむ旬間」と定め、イベントを中心とした様々な取り組みを実施しています。

この旬間は、皆さまに森林や湖に親しむことにより、心と体をリフレッシュしながら、森林やダム等の重要性について理解を深めていただく事を目的とし、旬間の期間中は、国土交通省、農林水産省、独立行政法人水資源機構、都道府県、市町村等が主催者となり、全国各地の管理ダムを中心として、ダム堤体内等の見学会や周辺でのイベント等を実施します。

「森と湖に親しむ集い」の会場の「新平ヶ原公園」は島地川ダムの上流域にあり、無料のキャンプ場として皆様にご利用いただいています。



新平ヶ原公園の河川利用状況
急な増水等に気をつけて下さい



ダム見学会

5月30日(月)に、山口大学の4年生や大学院生等23名(先生2名含む)がダム見学に来られました。

この見学会は、山口大学工学部院生の授業「地域情報システム工学特論」の一環で河川行政の現場を学ぶ場として見学を企画されました。学生さんは、真剣に説明を聞き、メモを細かく取られてた方もおられました。



ダム見学の後は、佐波川に行かれ防府市にある新橋地点で流量観測の目的や方法の説明を受け、その後、国道2号小月バイパスの橋梁工事現場を見学に行かれたました。

◆編集後記◆

4月、5月と続いた大雨も6月4日に梅雨に入り、小休止しています。
6月の降雨量は15日現在、111.6mmと平年(過去10年の平均)と比べ36%です。島地川ダムの貯水率は15日現在、100%と利水に関しては問題ありません。

今後、本格的な梅雨に向かって降雨量も増えてくると思いますので、今後とも油断することなく業務を遂行していきます。
(K・M)